

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	3010203	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	幼稚園通園バス運行事業	担当部署名	教育課	
		作成責任者職氏名	課長 中野光二	内線 650
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)	
	03教育・歴史・伝統	01学校教育の推進	02村の特色を生かした教育の推進	
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成12年度～ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

<p>(1)事務事業の目的及び内容</p> <p>①目的 平成12年度の赤阪・千早・多聞・小吹台幼稚園の統合から通園バスを実施しており、園児の通園の安全性確保等を図る。</p> <p>②内容 旧千早校区・小吹台校区・多聞校区へ通園バスを運行している。</p>	<p>(2)対象(誰を対象とするのか) 旧千早校区・小吹台校区・多聞校区の園児</p>
<p>(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか) 通園の安全性の確保</p>	<p>(4)事務事業を進める上での課題や問題 ・悪天候等による通園バス運行の安全性の確保 ・園児数の減少による財政的負担の増大</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	3,767	3,937	3,611	3,923	3,923			
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源	3,767	3,937	3,611	3,923	3,923			
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.10	0.10	0.10	0.10			
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	555	589	589	589			
総コスト費(千円)(A+C)	4,322	4,526	4,200	4,512	4,512			
人口あたりコスト(円)	713	747	693	745	745			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	運行回数	日	200	200	100%	200	200
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 100% / 1 = 100% (A)

(1/2)

Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	園児が安全に登園できている。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	遠距離の園児の登園の手助けができ、保護者の負担を減少させている。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	バス1台で村内全域を巡回するのに時間がかかる。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	特定の者を対象としているが、受益者以外の村民からみても理解が得られやすい。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	14 / 16	88%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
100%	88%	94%	b
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

Ⅳ 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	← A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
B	
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
幼稚園一園化に伴う通園措置であり、引き続き実施する。	

Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
幼稚園一園化に伴う通園措置であり、引き続き実施する必要があると考える。今後、幼児の減少等により、通園バスルートの変更等を幼稚園・保護者とともに計画していく必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(2)第三者による有識者会議結果	
	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(3)行政経営戦略会議結果	
幼稚園一園化に伴う通園措置であり、引き続き実施する必要があると考える。今後、幼児の減少等により、通園バスルートの変更等を幼稚園・保護者とともに計画していく必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止